

< あなたの治療について >


血内 - AZA 皮下 (7日連続)


今回の治療は、AZA皮下(7日連続)という治療法で、ビダーザ(AZA)という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は、28日間が1コースとなっています。各コースの1~7日目に皮下注射を行います。この治療を28日間ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1~7日目	8~28日目
	グラニセトロ ンゼリー (吐き気止め)	内服		お休み

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1~7日目	8~28日目
	ビダーザ (抗がん剤) 75mg/m ²	皮下注射		お休み

注射後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。

起こりやすい副作用について(頻度20%以上)

ビダーザについて

白血球減少症、好中球減少症、リンパ球減少症、血小板減少症、ヘモグロビン減少、赤血球減少症、ヘマトクット減少、ALT(GPT)増加、AST(GOT)増加、ALP増加、血中アルブミン減少
便秘 食欲不振 倦怠感 発熱 発疹 注射部位反応(紅斑、発疹、そう痒感、硬結等)

特徴的な副作用について

ビダーザにおける

腎不全、腎尿細管性アシドーシス

「尿量減少、むくみ、食欲低下、筋力の低下、麻痺」などの症状

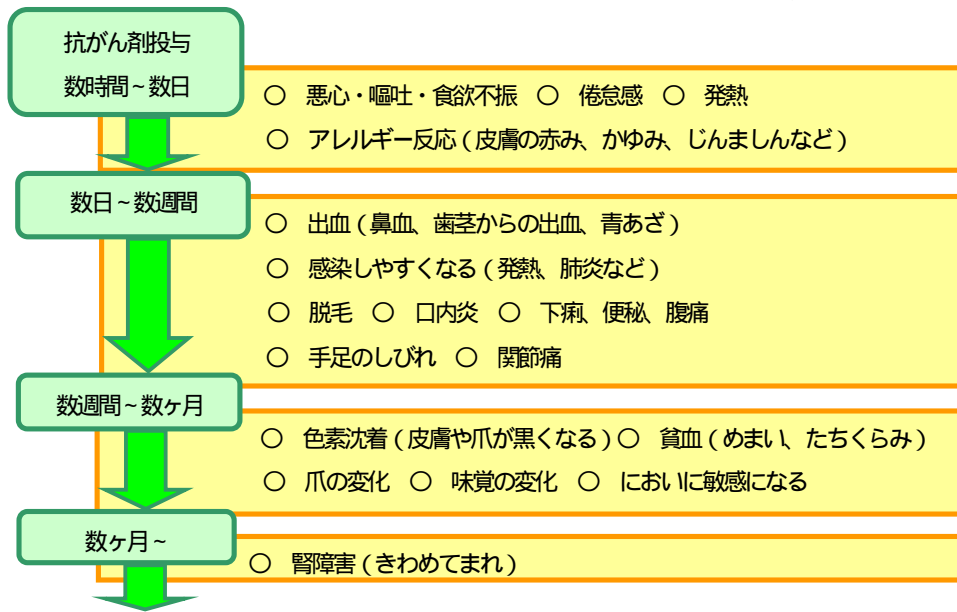
*上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、このような症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ビダーザ】

<骨髄抑制>貧血、発熱、出血傾向

<感染症>発熱、体がだるい、風邪のような症状

<出血>頭痛、吐き気、腹痛、眼からの出血、尿に血が混じる、手術創部からの出血

<心障害>動悸、胸が痛い、むくみ、息切れ

<ショック、アナフィラキシー様症状>呼吸困難、顔面蒼白、眼や口唇のまわりのはれ

<肝機能障害、黄疸>全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる

<腎不全、腎尿細管性アシドーシス>尿量減少、むくみ、食欲低下、筋力の低下、麻痺

<低血圧>全身倦怠感、脱力感、頭重感

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。